

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

環境・体制整備	子エック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点
業務改善	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法律に沿ったスペースを確保しております
	② 職員の配置数は適切であるか	○			状況により、人員を増やし法律に沿った配置を行っております
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			スロープ等の設備はありませんが、職員配置等で可能な限りの配慮を行っております
	④ 生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			午前・午後の2回、清掃を行い清潔を保っております
	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			目標設定に関する意識は確実に高まっております
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度のアンケート集計を基に、業務改善の意識を高めております
	⑦ 事業所向け評価表及び保護者向け評価表を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果を最大限に活かせるように試行錯誤しております
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、第三者評価を受けることは課題のひとつです
	⑨ 職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修が確実に増えています
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントを基に個別支援計画を児童発達支援管理責任者が作成しております
適切な支援の提供	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			昨年度からの継続課題のひとつです
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			児童発達支援管理責任者が作成する個別支援計画に反映すべく、会議のううえで支援内容を取り決めております
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			毎日のミーティングにて情報共有のううえで支援を行っています
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員会議にて行っております
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員の提案を可能な限り取り入れていきます
	⑯ 子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			個別、集団の両活動を組み合わせるようにはしております
	⑰ 支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			お子様到着前に必ず確認をしております
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間での情報共有も含め、振り返り作業は必ず行っております
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をとり、会議の議題にしております
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心にモニタリングを行い、保護者との面談にて個別支援計画の見直しを行っております
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所サード担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本は児童発達支援管理責任者が行いますが、状況により他職員が参加することもあります
	㉒ 母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保育園や幼稚園との連携が確実に増えており、職員が見学に行ったり来ていただいたりしております
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			体制を整える意味では、今後の課題です
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			体制を整える意味では、今後の課題です
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の共有と相互理解を図っているか	○			事業者内の放課後等デイサービス事業所との連携により補っております
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小・学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			現実としては、行えておりません
	㉗ 他の児童発達センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			そのような機会を模索しております
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		○	現実としては、行えておりません
	㉙ (地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			支援者会議には積極的に参加しております
	㉚ 日頃から子ども達の状況を保護者と伝え合い、子ども達の発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に保護者様へ必ず伝えております
保護者への説明責任	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			ビジョントレーニングを取り入れられていることで、保護者様に還元できていると感じています
	㉜ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しております
	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			法律に沿った対応をしております
	㉞ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			内容により、対応する職員を選材通所で変えております
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		○	事業所の課題の一つです
	㊱ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知徹底し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			どの職員でも対応できるよう、窓口を広げております
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回、五版にここに「新聞」として保護者様に配布しております
	㊳ 個人情報等の取扱いに十分注意しているか	○			鍵付きの冊や引き出しで保管しております
	㊴ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に応じて対応しております
	㊵ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			機会をつくらうと思っておりますが、実現しておりません
非常時等の対応	㊶ 緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			作成しておりますが、非常勤職員に浸透していないのが課題です
	㊷ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、避難訓練を行っております
	㊸ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			保護者様との確認をしております
	㊹ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○			契約時に保護者様に確認し、注意しております
	㊺ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例研修を行っております
㊻ 虐待を防止するため、職員研修会を確保する等、適切な対応をしているか	○			放課後等デイサービスとの連携のもとで、虐待防止研修は積極的に事業所内研修にて行っております	
㊼ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束を必要とするお子様の在籍がありません	